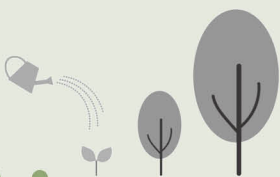


4月 番組表

時	番組内容
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう お知らせ(静止画)
8	お知らせ(音声付) からだほぐしストレッチ
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう お知らせ(静止画)
11	お知らせ(音声付) うきうきダンス
0	まちの話題 ホットニュース
1	宇陀市政なう お知らせ(静止画)
2	お知らせ(音声付) ウェルネスうだ体操
3	お知らせ(静止画)
4	いきいき歯ッピー体操
5	お知らせ(静止画) お知らせ(音声付)
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう お知らせ(静止画)
8	うきうきダンス ウェルネスうだ体操
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう お知らせ(静止画)
11	まちの話題 ホットニュース
0	宇陀市政なう お知らせ(静止画)

番組内容	1日～10日	11日～20日	21日～末日
ホットニュース	○第18回市町村対抗子ども駅伝大会	○みんなでつけよう橋の名前 ○宇陀市内の桜(大宇陀・菟田野)	○絵本作家講演会 ○宇陀市内の桜(榛原・室生)
宇陀市政なう	市の取り組みや行政情報		
	○うだし なかよし献立 ○野菜たっぷりクッキング：きゅうりとわかめのツナサラダ ○手話への扉パートII第10回	○うだしなかよし献立 ○図書館 今月のおすすめ ○手話への扉パートII第11回	○うだしなかよし献立 ○UDA UDA ENGLISH ○手話への扉パートII第12回
まちの話題	○補陀寺 初午法要 ○明神楽の修復	○きのこ栽培技術研修会 ○第16回 宇陀シティマラソン	○多肉植物の寄せ植えワークショップ ○人物探訪 ～野鳥写真家 西村さん～
産業情報	○宇陀の気になる企業		

生涯学習 だより



【スポーツ推進活動⑤】

～市民のスポーツ振興のため～

私たちは、スポーツ推進委員会を年6回、研修等を年数回行っています。会議ではスポーツイベントの企画や運営、「ニュースポーツ」の普及について話し合っています。

1月の会議では、市スポーツ協会事業の「うたのを歩こう2023」、「宇陀シティマラソン」の協力、次年度開催の「レクリエーションボッチャ・モルックの体験会」について話し合いました。体験会は5月14日(日)に開催します。ボッチャ・モルックは、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツですので、皆さん、お越しください。[詳細は27ページをご覧ください。]



▲スポーツ推進委員会議の様子

問生涯学習課 (☎ 82・3975/IP ☎ 88・9364)

4月ほど「新しい」という言葉がぴったりの月はないかもしれません。新しい学校・職場、新年度、新学年に新社会人など「新しい」ことが盛りだくさん。特に環境が変わらなくても、木々の新芽や膨らんだ花のつぼみを見ると新しく生まれ変わった気持ちになり、なんだかワクワクしますよね。私の周りも、人事異動や部署異動で「新しい」出会いが多くなりますが、フレッシュで「新しい」気持ちで4月を過ごしたいと思っています。(M)



動き

令和5年3月1日現在 ※()内は前月比

0～9歳	1,294人	60～69歳	4,515人
10～19歳	2,068人	70～79歳	5,482人
20～29歳	1,965人	80～89歳	3,181人
30～39歳	1,959人	90～99歳	907人
40～49歳	3,050人	100歳以上	24人
50～59歳	3,374人		
総数	27,819人 (-60)		
世帯数	12,789世帯 (-46)		

お知らせ！うだスター

UDA Star



第12回

国際政治とメディア研究のうだスター

大阪大学 今西 ケルシーオリバー さん

大学生のとき、大学が発行している新聞で、記者として働く機会がありました。そのときまで経験したことのない取材やニュース記事の作成がとても面白いと感じ、また、国際政治を専攻していたこともあり、メディアに向ける関心を強く持つようになりました。

大学院への進学にあたり、記者の仕事から、メディアへの関心と政治の関連性に関する研究に活かせるのではないかと思いました。調べると、「政治的コミュニケーション」というメディアと政治の関係を探る分野があると知り、そのような分野を中心に研究を進めていくようになりました。



▲学会での研究発表(最後列左から6人目)

に関連する政府からの救済金の関連性をテーマにしています。この研究テーマに関する学術誌を昨年発行し、D1ジャーナル(メディア分野で世界上位10%の影響がある学術誌)に掲載されました。私の研究で、災害の犠牲者が政府からの必要な支援を受けられるようにするためのツールを救済機関などに提供し、人道支援に役立てるようになることを願っています。

てんいち先生



人権

「人権教育はみんなのもの」

奈良県発祥の「人権を確かめあう日」が35周年を迎えます。市町村人権・同和問題「啓発連協」で始まったこの啓発活動を、県内で続けられてきています。左記には「おとなはどう思っているのかな?」という発言が出てきます。子どもは学校で人権教育を学びます、「同和問題」「障がい者差別」「性別」「人種問題」など。なぜこの教育を受けるのでしょうか。それは残念ながら現在の社会に人権を侵害する差別が存在するためであり、間違った情報に左右されず人権を大切に

深く考える時間はなかなか多く取れないかもしれませんが、しかし年に1回、月に1回など自分に無理のない範囲で、人権イベントに参加するなど見聞を深めてはいいかがでしょうか。人権については昔から単一の事を提唱している訳ではなく、日々研究され新しくなっていますので、是非人権について考え、学び、意識を高めていきましょう。お互いの人権を「大切にしなければならぬ」ことは誰もが十分に理解しているはずですので、子どもと人権について話をする時、自信をもって対話をしてあげてください。